

サステナビリティスポットライ

🕒 所要時間 3分

明言された約束、守られた約束そして新たな約束：

ますます相互に連結した世界において、天然資源を保護すること、人々の生活を守ることは人類の未来のための最重要事項であるという社会の認識が高まりつつあります。それは変化が激しく、競争が激化する時代の中であって、企業が生き残り、繁栄しつづけることも同様です。

「Steelcase は“事業とは人である”という信念のもとに創業しました。その一貫として会社は持続可能な活動を実践することに専念してまいりました。」とSteelcaseの最高経営責任者（CEO）であるJim Hackett氏は語っています。「企業が熟考し、充電し、焦点を再びあわせなければならない機会は多くあるのです。私どもは創業100周年を機にまさに今までのサステナブルな活動の成果を考え、未来に大きな夢をはせました。」

今年始めに、Steelcaseは今までで最も広範囲にわたるコーポレートサステナビリティレポートを公開しました。Steelcaseは世界中の企業の中で毎年、自発的に環境や社会への影響をレポートとして報告しているわずか40%の企業のひとつです。「+Promise」というタイトルのこのレポートは顧客、パートナー、地域社会、従業員、そして環境への約束という項目別に世界中にまたがる事業所も含め、その環境的、社会的活動の実践を記録し、報告書としたものです。また、その中には会社が提言する新たな約束、そして強化された統治体制のもとでいかにそれらが履行されていくかも明言しています。

今年のオンラインレポートではグローバルレポーティングイニシアティブ（GRI）インデックスと呼ばれるものや製品に対する責任から労働慣行や人権にいたるまでの10のカテゴリーにおける120以上もの主要業績評価指標を含んでいます。

レポートには世界中に広がっているSteelcaseの従業員が未来を変革している姿がストーリーとして登場し、Steelcaseのサステナビリティに対する全社一丸となった取り組みを知ることができます。ここに一つ、ヨーロッパの例をあげてみましょう。Steelcaseは新しい国際標準化をただじっと待つのではなく、環境をリードするライフサイクルアセスメントの会社、Quantisやその他の企業とパートナーを組み、自らの製品を事例として、グローバルなウォーター・フットプリント（製品の生産から消費までに使用する水の総量）の方法論を構築しました。なぜするのか？それは水の保全がかつてないほど重要になってきており、水を管理し、測定するツールは大幅に改善する必要があるからです。ライフサイクルアセスメントへの水の基準を将来統合し、評価することによって、Steelcaseは今後の製品開発プロジェクトのための新たなガイドラインを築くことができるのです。

「私たちはまた、サステナビリティの実践とその報告機能を広げ、追加領域の測定基準を記録し、グローバルな精度のための既存の測定基準をさらに向上させていくつもりです。」とGlobal Environmental SustainabilityのディレクターであるAngela Nahikian氏は語っています。「私たちはさらに一歩前にでて地球規模でのイノベーションのためのレンズとしてサステナビリティを高める取り組みをしていきます。」

レポートの中で語られているストーリーにも反映されたSteelcaseの運用実績を超えて、顧客の皆様が自らのサステナビリティを達成できるようにお手伝いすることが企業としての価値と社会への影響を最大にする機会の一つであると捉えています。

リサーチベースの発見を共有し、革新的な製品やソリューションを提供することによって、Steelcaseは企業が従業員の生産性とウェルビーイングをサポートしながら、不動産を最大限に活用できるようにお手伝いすることができます。結果を見れば努力が無駄ではなかったことがわかります。効率的な不動産フットプリントとはつまり unnecessary 建設は省き、より少ないエネルギーとより少ない温室効果ガスの排出を目指すということです。さらに重要なことはそのことがワーカーの能力を最大限に引き出すことにもつながるということです。

「私たちは自分たちの行動と資産の力を結びつけ、ポジティブな変化を生み出すことができるものと確信しています。サステナビリティの実践に対して責任を持つことが社会的、経済的、そして環境的側面に貢献し、人間の可能性を最大に引き出すことができるようになるのです。」とHackett氏は言います。「私たちのサステナビリティへの取り組みは私たちが生活している地域社会に利益をもたらすだけでなく、企業をより健康にし、イノベーションと変革を導く原動力にもなると信じています。」

レポートに関するさらなる詳細はcsr.steelcase.com/ をご参照ください。

37% 温室効果ガス排出の削減

100% 再生エネルギーの使用 (パリとストラスブルグのオフィス) 米国では25%

54% 水の消費の削減

\$470万ドル 寄付金額 Steelcase とSteelcase 基金から 地域社会への寄付

23% 廃棄物の削減+再生材料

5,361時間世界中の従業員のボランティア活動グローバルな奉仕

53% VOC 排出の削減

STEELCASE はMICROSOFT、COCA-COLA、CHEVRON、GENERAL MILLS と並んで 2013 年度サステナビリティレポートに関するビジネス円卓会議に参加

今年の春、Steelcaseは2013年度サステナビリティレポートに関するビジネス円卓会議に参加しました。テーマは「創造、成長、持続：企業は持続可能に貢献することでどのように繁栄できるのか」。4月に発表された報告書では、自らの企業の持続可能への取り組みを通して、世界中の何百人もの人々の生活の質がどのように向上したかを世界の名だたる企業の147名のCEOたちが物語を提供しています。Steelcaseの他のそのメンバーはMicrosoft、Coca-Cola、Chevron、General Mills、Johnson Controls、SAP、Xeroxなど業界を超えた名だたる企業が名を連ねました。

「当社は世界の名だたる企業のオフィス環境を創造しているということもあり、幅広く影響を与える独特な立ち位置にいました。私たちは社内で成し遂げたことをもちろん誇りに感じておりますが、私どもが役に立つ最大の可能性は顧客企業の皆様の持続可能なビジネス目標の達成を支援することなのです。顧客の皆様と学ぶこと、そしてさまざまな発見がイノベーションを生み出し、業績の向上につながっていると考えております。」とSteelcaseのCEOであるJim Hackett氏は言います。

レポートに関するさらなる詳細はcsr.steelcase.comをご参照ください。